

## 市民参画に係わる市民座談会（第16回）《要旨》

平成24年10月11日（木）午後7時から午後9時まで

市役所別館5階 第6会議室

参加者 15人

【市民】岩垣、尾池、大野、小嶋、坂本、佐野、白石、竹内、藤井、宮本、山本、米野

【職員】政策企画室 又賀、浅見 地域づくり支援課 木内

座談会における内容は以下のとおり

### 1 事例発表（②市民参画全般グループ：米野さん）

- ・市民参加の基礎概念について

### 2 グループごとの話し合い

①まちづくり	②市民参画全般	③広報・広聴
・岩垣 ・小嶋 ・坂本 ・藤井 ・宮本 ・山本	・佐野 ・米野	・尾池 ・大野 ・白石 ・竹内 (又賀、浅見、木内)

( ) 内は、市職員

- ・グループに分かれて、テーマ等について話し合った。内容は別紙のとおり。

### 3 次回の座談会について

- ・平成24年11月8日（木）午後7時から
- ・場所は、コミュニティセンター第1集会室

# 市民座談会（第16回）

日時：平成24年10月11日（木）19時～

場所：朝霞市役所 別館5階 第6会議室

グループ名	①まちづくり（ 住み（続け）たいまち ）
参加者	岩垣、小嶋、坂本、藤井、宮本、山本
内容	<p>※要点を箇条書きでまとめてください。</p> <p>【メンバーから出た主な意見】</p> <p>○勉強テーマについて</p> <p>※第15回において、「①健康、②子ども、③防災、④防犯、⑤コミュニティ、⑥生活→商業」の6つの中からテーマを絞り込むこととしたが、⑤コミュニティに全て入っている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自治会加入率は、昭和55年をピーク（90.2%）に年々下がっている。開発が進むのとほぼ一致しているのではないか。新しい人は入らない。</li><li>・災害時要援護者名簿は、民生委員には配布されている。町内会の会長のところに配布されているかは不明である。</li><li>・町内会が肥大化しているところは、分割することも考えてはどうか。</li><li>・ヤクルトやお弁当の配達での見守りはあるが、一番重要なことは、地域のコミュニティ。普段見ていると異変にも気づく。</li><li>・高齢者だけではなく、若い人たちでも使える仕組みがあれば、加入に結びつく。</li><li>・町内会でイベントも必要</li><li>・町内会の役員を同じ人がずっとやっていて、高齢化していることも問題ではないか。</li><li>・町内会とは別に、若い人たちが集まって何かをするようなことがあってもよい。</li><li>・子育てグループはたくさんあるが、一緒に何かをとというようなことはあまりきかない。</li><li>・子供の視点で考えてはどうか。子どもを引き込むと親が付いてくる。</li></ul> <p>○コミュニティをテーマに、健康、子ども、安心・安全などについて話し合うことにはしては同課。</p> <p>○キッズニアを駅前通りでやりたい。</p>

# 市民座談会（第16回）

日時：平成24年10月11日（木）19時～

場所：朝霞市役所 別館5階 第6会議室

グループ名	③広報・広聴（ ）
参加者	尾池、大野、白石、竹内、（又賀、浅見、木内）
内容	<p>※要点を箇条書きでまとめてください。</p> <p>【メンバーから出た主な意見】</p> <p>○広報「あさか」の全戸配布の是非について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・配布しても読まない人にまで配る必要があるか？</li><li>→しかし、いらぬから配らない→ますます情報に疎くなり「何も知らない人」層が増えるのはおかしいのではないか。やがて、救済を要求する層に墮していきはしないかと危惧する。</li><li>→読む人と読まない人とが乖離することは問題である。</li></ul> <p>○広報「あさか」に何を期待するか？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・たまたま見ていたら面白いことが掲載されている！…ピンポイントを見つける。</li><li>・災害・防災について／教育について／知りたい情報を登録しておいて市から届くといいなと思う。</li><li>・費用対効果から…安全の確保情報やコミュニケーションツールとして活用できないか。</li></ul> <p>○執行機関として、広報として、何を伝えなければならないか？</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・権利を享受できるもの</li><li>・各種委員募集</li><li>・議会だより…現状はスペースが僅かだが必要ファクターである</li><li>・埼玉県のようなタブロイド版にして、情報件数を増やす</li><li>・タブロイド判は流して見ることができる</li><li>・子育てに関する情報</li><li>・学校の現場の情報</li></ul> <p>○ホームページの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ツイッター／フェイスブックなど多様な方法が考えられる。</li><li>・岡山市が成功しているような電子町内会…パソコン／iPad など駆使した情報提供も参考になるか。</li></ul>